

平成30年1月30日

第2回 学校評議員会 議事録

岐阜市立岐阜商業高等学校
司会 教頭 記録 瀬瀬

- 1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成

委員	竹本 康史	岐阜聖徳学園大学教授
	大野 美鈴	元PTA副会長
	山内 義孝	(株)サムソンフィクセル社長 (欠席)
	安藤 久男	鏡島自治会連合会会長 (欠席)
学校関係者	杉本 信康	PTA副会長
学校側	大矢 晋	校長
	上田 義広	事務長
	浅井 芳仁	教頭
	瀬瀬 良二	教務主任
	那須 貴	生徒指導主事
	杉山 明宏	進路指導主事
	浅井 智世	特別活動部長
	今井 哲	商業教育部長
- 3 会議の目的 地域社会との連携を深め、開かれた特色ある学校運営を推進する。
- 4 会議の開催 平成30年1月30日(火) 13:30~15:00
本校 校長室・視聴覚室
- 5 会議の概要
 - (1) 挨拶(学校長)

学校以外の第三者に学校を見ていただき、学校関係者以外の違う視点のご意見を伺うのが本日の学校評議員会の趣旨です。忌憚のない御意見をいただき学校改善に繋げていきたいと思っております。

また、来年度はこの学校評議員会を学校運営協議会として開催し、地域や関係者の皆様の御意見を幅広く伺う会に発展させ開催いたします。このことも併せてどうぞよろしくお願いいたします。
 - (2) 情報処理科実習発表会の参観
情報処理科3年生の1年間の取組の発表会を参観した。
 - (3) 日程説明(教頭)
 - (4) 学校説明
自己評価・学校関係者評価報告書により、教務部・生徒指導部・進路指導部・特別活動部・商業教育部の分掌長から本年度の取組の成果と来年度に向けての課題を発表した。
また、来年度から実施するために定める「岐阜市立岐阜商業高等学校運営協議会会則」(案)について審議し承認された。

(5) 意見交換（評議委員からの意見）

- 意見1 息子が在籍していた昨年度は情報処理科実習発表会を見ることができなかったが、今年見ることができてよかった。発表会は身近なテーマを選んで分かり易く発表していた。中でもゲーム作品を見てプログラミングの勉強をすれば、あのような作品が作れる素晴らしい技術が身に付くのだということが理解できた。
- 意見2 資格取得に力を入れることは大切である。高度な資格取得を目指して、専門学校や大学と連携しているという報告は素晴らしいと思った。
- 意見3 徐々に良くなっている学校の様子を見ると、先生方の手をかけている苦勞の跡が感じ取れる。交通事故防止や快活なあいさつができることに対する先生方の取り組む姿勢が生徒に響いていると思う。
- 意見4 交通事故が増加しているということであるが、交通マナーについては近所の小中学生を見ていると良い子もいればそうでない子もいる。先生方も積極的に声を掛けているが中々指導できていない。本校以外の高校でも同じ状況ではないかと思う。教員の呼びかけだけでは限界があり、各家庭の協力を求めることも必要ではないだろうか。
- 意見5 大学にも近隣住民から交通マナーに対するクレームがある。その対策として学生にボランティアで交通マナー向上のための啓発活動に取り組ませたところ、危険に対する気づきがマナー向上につながった。一つの有効な手法ではないだろうか。
- 意見6 保護者として市岐商デパートを三年間経験したが、毎年同じような内容であった。反省をもとに中身の濃い市岐商デパートにすることはとても良いと思う。積極的に改革してほしい。
- 意見7 市岐商デパートは生徒のコミュニケーション能力を育成する良い機会になっている。

(6) 会議のまとめ

いただいた貴重な意見をこれからの学校運営に取り入れ、本校の学校目標である「市岐商ブランドの確立」に向けて資格取得、部活動、ビジネスマナー教育に一層力を入れて、魅力ある学校づくりに生かしていきます。